

— 巫女による神楽舞奉納 —

阿蘇神社 <http://asojinja.jp/>

報社  
あそみや

平成22年11月1日

第 49 号

発行所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋862

☎ 0957-43-5235

神宮大麻

阿蘇神社

宮司 大島 大明

毎年年末になると神宮大麻が頒布されます。神宮大麻は伊勢神宮の内宮の御祭神であり、「天照皇大神」の御神札です。神宮大麻は、全国の神社を経て氏神さまの御神札と供に頒布されています。

天照大神は皇室の祖先神とされ、当初は宮中にお祀りしていましたが、第十一代垂仁天皇の御代に現在の伊勢の五十鈴の川上の地に遷し祀られました。

当初、神宮大麻は「御秋大麻」と

称され、御師(おし)と呼ばれる神宮の師職によつて全国の家庭に頒布されてきました。因みに、江戸期安永年間に、大麻を受けた戸数は五百万戸とも云われています。

年毎に新しい神宮大麻を受けて神棚にお祀りすることは、遠い祖先から伝えられている年中行事の一つでありましょう。家庭の守護として、また家族の心の拠り所として神宮大麻を阿蘇神社の御神札と供にお祀りいたしましょう。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領を掲げて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、  
明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、  
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

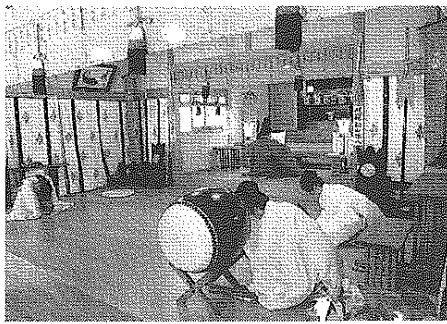
一、大御心をいただきてむつび和らぎ、  
国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

# 阿蘇神社

## 例祭を斎行!!

去る十月十五日に阿蘇神社の例祭が斎行されました。

例祭は神社が創建された記念日で、天文三年(一五三四)当時喜々津の領主であった西郷石見守が熊本県一の宮の阿蘇神社より御分霊を受け、喜々津の総鎮守として社を建立し祀った日とされています。定刻宮司以下祭員が参進。先ず宮司がご本殿の御扉を開き、神前に神饌とともに神社本庁の幣帛料、長崎県神社本庁及び参列者よりの玉串料が供えられました。



— 宮司祝詞奉上 —

宮司が神恩感謝と更なる御加護を祈念する祝詞を奏上、引き続き巫女が笛太鼓に合わせ、神楽舞を奉納しました。次いで宮司以下参列者の代表者が玉串を捧げ拝礼を行い、平成二十二年の例祭は恙なく終了しました。

祭典終了後、社務所へ移動し直会を催し、御鎮座記念日である例祭を祝いました。

例大祭に際し左記の通りご献納を賜りました。ご芳名を記しお礼を申し上げます。《順不同・敬称略》

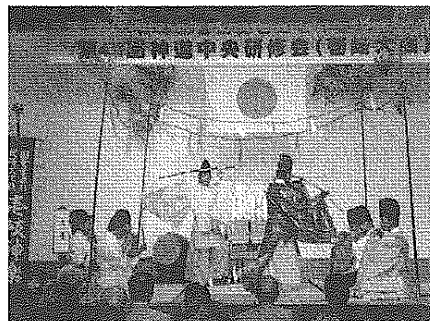
- ◇幣帛料 神社本庁
- ◇玉串料 長崎県神社庁
- ◇初穂料 松尾一彦、多良見町漁協組合長・岩崎征忠、山中征二、北島守幸、八江利春、中村和廣、嶋田弥八郎、中村眞夫、小川 晃、白石幸男、坂口勝明、福井英俊、山田豊明、溝上盛夫、西川 銜、峰 一孝、前田信太郎、向井徳磨、吉野 徹、松尾清人、宮嶋 博、大久保治賢

- ◇献 酒 十八銀行多良見町支店 店長・松永徳治、親和銀行多良見支店長・前田圭介、たちばな信用金庫多良見支店長・中島将博

以上

# 総代会中央研修会に参加

八月二十四日より二日間、長崎県神社総代会主催の「神道中央研修会」が壱岐市で開催され、前田会長以下六名が参加しました。



— 壱岐神楽(国の重要無形民族文化財) —

この研修会は県下の神社総代と神職が、年に一度一堂に会し開催されるもので、今年は四十一回目を数えます。

壱岐は対馬と共に古代の文化が現在に継承されている地であり、島内には延喜式内社と称される由緒ある神社が多数鎮座されています。今回の研修会は、こうした歴史ある神社への参拝を通して、神社の整備と維持管理の実情を見聞することも目的の一つでした。

講演の他にも今年三月十四日に開館した壱岐市立一支国博物館と長崎県埋蔵文化財センター等の見学、壱岐神楽(国の重要無形民族文化財)の拝観など、充実した研修会であったように感じます。

# 受験生合同祈願祭のご案内

十一月六日(土曜日)に阿蘇神社で、二〇一〇いさはや灯りファンタジア・プレゼンツの一つとして、進学就職試験の「受験合格合同祈願祭」が開催されます。

長崎県観光振興推進本部の観光応援団多良見プロジェクトが企画主催する事業で、今後受験をしようとする方には、ご家族お揃いでご参加ください。

中・高・大学 資格・就職試験

## 受験合格合同祈願祭

平成22年11月6日(土曜)

長崎県南多良見町 化蔵 阿蘇神社

受付時間 17:30(開始)  
 受付開始 18:00(受付開始)  
 受付終了 19:00(受付終了)  
 受付場所 阿蘇神社 本殿前  
 申込費 2000円(税込)

※大人数の団体様へは、  
 本会事務局(0957-23-6078)までお問い合わせください。  
 ※本会事務局(0957-23-6078)までお問い合わせください。

お問い合わせ先 0957-23-6078 (FAX)  
 長崎県 観光振興推進本部 観光センター 広報プロジェクト

# 奉納相撲大会終了!!

去る九月十二日に恒例の奉納相撲大会が開催されました。町内外より多くの子供が参加し、団体戦・学年ごとの個人戦・抜き相撲などが行われました。開始直後には雨による中断もありましたが、予定された取り組みは全て行われ、神社の杜は終日賑わいました。当日の成績は以下の通りです。

### 地区対抗戦

優勝 市布

準優勝 木床 A

### ▼学年別個人戦

◇一年生の部

優勝 中村虎ノ輔(市布)

準優勝 西村亘北(丸尾一区)

◇二年生の部

優勝 渡辺恒成(丸尾一区)

準優勝 上田幸永(市布)

◇三年生の部

優勝 竹下翔太(市布)

準優勝 榎 翔馬(中里)

◇四年・五年の部

優勝 外 辰勝(市布)

準優勝 松山あかり(木床)

◇六年生の部

優勝 前田光貴(市布)

準優勝 内田翔太(丸尾一区)

阿蘇神社の奉納相撲大会は、穂上祭という神事に伴う「神賑行事」とされています。穂上祭とは、春の田祈禱祭で豊作祈願を米が順調に生育していることを感謝し、秋の稔りを賜ることを祈念する祭で、阿蘇・丸尾一区の住民が祭主として行われている祭典です。

相撲大会には町内の子供等の外に近隣各町よりの参加もあり、町対抗戦や学年ごとの抜き相撲が行われました。また諫早農高の相撲部も参加し、全国レベルの迫力ある相撲が披露されました。

例年相撲大会の開催に尽力いただいている阿蘇神社奉納相撲大会実行委員会(松尾義光会長)の皆様方、また抜き相撲へ賞品の提供をいただいた商店、運営資金の協賛をいただいた関係各位に対し心より感謝を申し上げます。

今後とも伝統ある阿蘇神社の相撲大会が継続されますよう、ご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。



## § 総代会便り §

四月一日 神社総代異動

退任

木床 松山 弥八 殿

就任

木床 向井 徳磨 殿

四月十二日 総代会開催

役員改選の年に当たり、総代会で互選を行い以下の通り決定した。

責任役員・総代会会長

前田 信太郎 殿

責任役員・総代会副会長

吉野 徹 殿

会計・総代

松尾 清人 殿

五月二十三日 評議員会を開催

総代会の予決算書を審議し、総代会の事業計画等を協議しました。

総代会の今年度の幹事は左記

の通り選出されました。

◇幹事新任

丸尾二区 中村 眞夫 殿

下 市 峰 一 孝 殿

七月十二 西彼支部総代会総会

及び研修への参加

前田責任役員が西彼支部総代会の副会長に再任され、松尾清人総代が勤続五年以上による支部表彰を受けました。

八月二十四・二十五日

第四十二回中央研修会開催

老岐市で開催された研修会へ前田総代会長以下六名で参加しました。

九月十二日 奉納相撲大会の開催

阿蘇神社恒例の奉納相撲大会が開催され、総代会長が閉会式で挨拶をしました。

九月二十九日 宮司の神職身分昇

進報告祭と総代会宮司には九月十日附で神職身分が現在の「二級」から「二級上」へと昇進しました。

神前で報告祭を斎行し、総代会が開催されました。

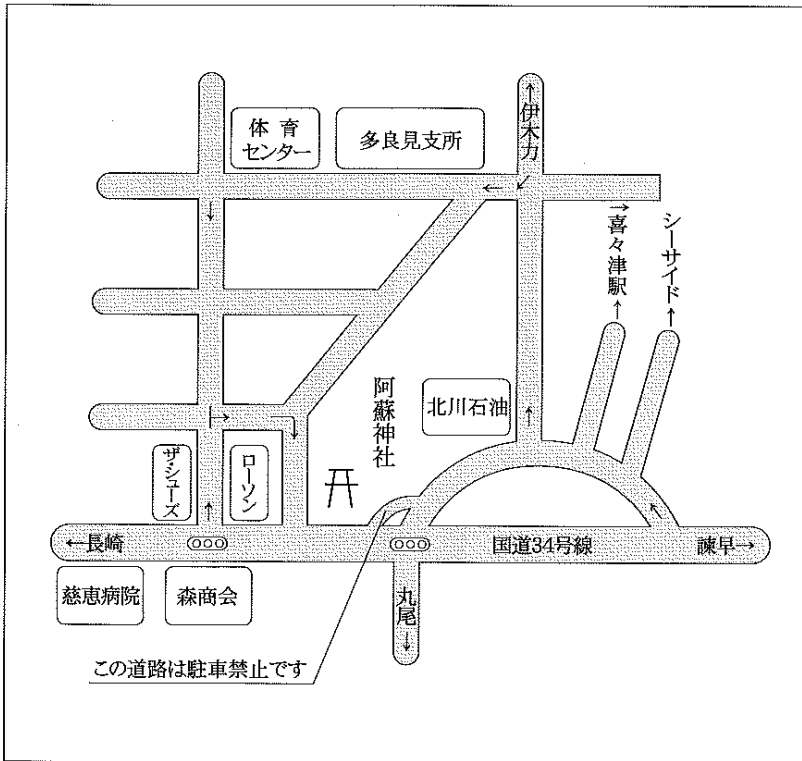
九月二十九日 臨時評議員会

総代会に引き続き、臨時評議員会を開催されました。

宮司の神職身分昇進に伴い、袴等の新調など対応を協議しました。

# 七五三詣は阿蘇神社へ!!

男女三才を『髪置』、男児の五才を『袴着』、女兒七才を『帯解』または『紐解』と称し、いずれも子供の健やかな成長を願う行事です。ご家族お揃いでご参拝下さい。



女	七歳	平成十六年生
男	五歳	平成十八年生
男女	三歳	平成二十年生
平成二十二年の七五三祝 数え年		

◆十一月七日(日曜)、十三日(土曜)、十四日(日曜)、十五日(月曜)の四日間は七五三を中心を受け付けます。  
 ☆受付時間 午前十時〜午後四時  
 これ以外の日時にご参拝予定の方は、出張祭典などで留守をするごともございますので、お手数ながら事前予約をお願いいたします。  
 ☆駐車場に限りがございます。乗り合わせてお越し下さい。

## 御礼

去る九月十日附で神職身分「二級上」に昇進いたしました。九月二十七日に長崎県神社庁に於いて神社本庁よりの認定証伝達式が行われ、二十九日には阿蘇神社御神前で前田総代会長以下総代各位の参列のもと、神職身分昇進報告祭を奉仕いたしました。

顧みれば昭和六十三年九月に鹿児島県神社庁より転任、今年で二十三回目の例祭を奉仕しました。爾来大過なく神明奉仕を続けてきたことが、今回の昇進につながったものと存じております。これまで賜った御高配に感謝をしつつ、今後も誠心誠意宮司として努めて参る所存でございます。今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## ◆編集後記◆

今年のノーベル化学賞に日本人として、鈴木章(北海道大名誉教授と根岸英一(米パデュー大特別教授の両氏が受賞した)特に鈴木教授の「研究の成果を独占したくない」との心意気には感銘しました)▼冬も間近になりました。ご自愛専一にお過ごし下さい。